

表 シカゴ連銀経済報告（2023年4月19日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに（moderately）増加 賃金は緩やかに（moderately）上昇	雇用について、製造業の一部では、受注が減速しているため、雇用の穴埋めの緊急性が低く、適した候補者を待つことに前向きになっている。州政府のある担当者は、企業が余った労働者や業績不振の労働者を雇用し続ける努力をあまりしていないことから、労働力の抱え込みが減少している兆候があると見ている。賃金と福利厚生のコストは緩やかに上昇したが、これは毎年恒例の賃金と福利厚生の引き上げが最近実施されたことを示している。
物価	緩やかに(moderately)上昇	物価は2月下旬から3月にかけて緩やかに上昇し、関係者は今後12ヶ月間、同様の上昇となると予想した。生産者物価は、わずかに上昇した。関係者からは原材料（特に鉄鋼）とエネルギーのコストが上昇したとの報告があった。また、特にコンテナや海上運賃などの輸送コストの伸びが顕著に鈍化しているとの指摘があった。消費者物価は、需要が引き続き高水準であることと、コスト上昇の影響を受け、全体的に上昇した。
個人消費	全体的に横ばい(unchanged on balance)	自動車販売台数は全体として横ばいで、自動車サービス・部品需要は引き続き堅調に推移した。レジャー・サービス支出は、クルーズラインや旅行代理店などの旅行カテゴリでの支出増に牽引され、わずかに増加した。
企業支出	安定して（stable）推移	輸送サービスに対する需要は、高水準で推移しているもののわずかに減少した。住宅用、商業用および産業用のエネルギー需要は、わずかに減少した。自動車在庫は引き続き増加しているが、パンデミック前の半分程度の水準にとどまっている。ある建設業関係者は、一部のサプライヤーが数週間以上先の注文を受け付けなくなったほど、資材の入手性が改善したと報告した。
建設と不動産	全体的にほとんど変化なし（little change）	住宅建設はわずかに減少したが、住宅用不動産の活動は全セグメントでわずかに増加した。ある担当者は、住宅ローン金利が低下したことが販売の増加につながったとしている。非住宅建設は、全体としてほとんど変化がなかったが、接客用スペースの改修が成長分野として注目されている。建設費の高騰は、引き続き新規プロジェクトの足かせとなっている。
製造業	わずかに（modestly）減少	製造業では機械の販売はわずかに増加し、ある関係者は航空宇宙部門での需要増を指摘した。大型トラックの受注はわずかに増加し、受注残は非常に高い水準を維持している。
金融	緩やかに（moderately）引き締まった	債券および株式市場では、シリコンバレー銀行（SVB）の破綻によりボラティリティ（値動きの大ききの度合い）が急上昇し、資産価値が一時的に下落したが、正味の資産価値の変動はほとんどなかった。銀行関係者によると、SVBの破綻後、預金の安全性についての問い合わせがあり、預金の移動があった。新規預金を受け入れた大手銀行の担当者は、中小銀行の健全性がより明確になるまで、預金が定着するかどうか不透明だと述べている。
農業	農業所得は前年から減少の見通し	ウクライナからの穀物輸出に関するロシアとの輸取引が5月まで延長されたため、小麦の価格は全般的に下落した。トウモロコシと大豆の価格は、南米の収穫量が少なく見積もられているにもかかわらず、下落した。牛の価格は、干ばつと厳しい冬に圧迫されたため上昇した。卵の価格は上昇し、乳製品と豚肉の価格は下落した。
地域社会の状況	ほとんど変化なし（little change）	州政府関係者は、税収の健全な伸びと失業保険申請件数の低さを引き続き報告した。高金利と供給コストの高騰は、手頃な価格の住宅や保育施設の利用を拡大する計画にとって、引き続き課題であるとの報告があった。家族向け支援団体は、消費者物価の伸びが鈍化する兆しがあるが、新型コロナウイルスに関連した財政支援の終了に伴って、家計に新たな負担がかかっていると述べた。

（出所）シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成